

科目名称	基礎看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	2	90
担当教員	原田留美 栗林のり子 大北米香 上原茂相 村上裕紀	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

基礎看護学実習では、実践をととして看護学の基本である「人間」「健康」「看護の対象」「看護の目的」「看護の役割・機能」について学ぶ。看護を実践するための共通基本技術および共通基礎看護技術の修得、また、対象の健康の状態を統合的に理解し、援助の必要性を判断して個別的な看護計画を立案し、実践する看護能力を養う。

【2】学習目標

1. 対象の生活環境が理解できる。
2. 対象の状態に応じた基礎看護技術の応用及び実践能力を養うことができる。
3. 問題解決技法を用いて、科学的思考に基づいた看護を展開することができる。
4. 自己のコミュニケーションを振り返り、対象と良好な人間関係を築くことができる。
5. 保健・医療・福祉システムの連携・協働について理解し、看護師の役割を考えることができる。
6. 自己の看護を振り返り、自己の達成度を明確にするとともに今後の課題を見つけることができる。
7. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいた行動ができる。

【3】第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
実習前	・実習オリエンテーション(全9回)を受け、実習目的・目標を確認し、共通基本技術、日常生活援助技術、看護過程プロセス、実習病棟の診療科の看護を含めた事前学習を整える。 ・基礎看護援助技術の学内実習を受ける。	オリエンテーション 学内実習
実習1週目	関係形成・情報収集・整理・分析の週 ・初日に実習施設のオリエンテーションを受ける。 ・実習2日目に看護師シャドーイング・病棟オリエンテーションを受け、受け持ち患者を決定し情報収集を始める。 ・受け持ち患者の情報収集・整理・分析を行う。	臨地実習
実習2週目	情報分析・統合・看護問題の抽出の週 ・受け持ち患者のアセスメントを行い問題点を抽出する。 ・看護計画を立案し、看護計画に沿って実施・評価を行う。 ・中間評価を行い、実習目標に到達する方法を教員と見直す。	
実習3週目	実施をしながら評価および対象理解・自己のコミュニケーションの振り返りの週 ・受け持ち患者の看護過程の展開を継続する。 ・プロセスレコードより、自己のコミュニケーションの傾向を振り返り、学生—患者関係を考える。	

【5】評価方法

基礎看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】教科書

系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1) 医学書院
 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学(2) 医学書院
 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学(3) 医学書院
 山内豊明:フィジカルアセスメントガイドブック, 医学書院

【7】参考書

竹尾恵子:看護技術プラクティス,学研

藤野彰子:看護ベーシクス, 医学芸術社

横井和美:看護過程の展開に沿った実習記録の書き方とポイント, サイオ出版

高木永子:看護過程に沿った対症看護, 学研

【8】受講生へのメッセージ

.